



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター
会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一
Email : a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局

TEL:0561-64-5446
FAX:0561-64-5459



奉仕を通じて 平和を



本日 第 488 回 例会 2013 年 1 月 15 日 (火 曜 日) 第 480 号

親睦夜間例会

<本日のプログラム> Today's Program
点鐘

於：国際ホテル(天守閣)
19:00~

前 回 第 487 回 例会 2013 年 1 月 8 日 (火 曜 日) 記 録

新年あけましておめでとうございます

<ロータリーソング> 「君が代」「奉仕の理想」

総合司会 加藤 猛 会場設営委員長

<出席報告>

会員総数 22名 (免除会員1名)
出席者 16名 出席率 76.19% 前々回補正出席率 95.4%



サラダ
カツカレー

<来訪者>

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田 茂樹会長



皆さん、明けましておめでとうございます。
長いお正月だったと思います。私は12月28日~6日まで10日間のお休みを
もらいましたが、何処へも行かず家でゴロゴロしてしまし、昼寝の癖が付き
眠くなっている状態です。皆様もそれぞれ楽しいお正月休みを過ごされ
たことと思います。昨年の暮れ政権交代となり、年明けには色々取沙汰され
ておりますが、実際行動できるのはこれからだと思いますが、一つだけ教え
ていただいたことがあります。民主党政権はコンクリートから人へでしたが、
安倍政権は人からコンクリートへと、まったく反対の事です。

国の利益を国民に直に分け与えるということから、公共事業の為に使用するという事で前政権とは違うとい
われています。お正月から良いことがないかなと探しておりましたが、なかなか見当たらず皆さんご存じだ
と思いますが今年の干支について少しお話いたします。2013年(平成15年)の干支は「巳」。巳年は「みどし/
へびどし」で細かく言うと「癸巳」となります。蛇は、毒を持つのに自らには影響しない、脱皮が死と再生を連
想させる動物です。日本に限らず世界各国の神話や民話で、悪魔の化身として忌み嫌われる動物であり、
一步では神の使いであり、医療・医学の象徴としても用いられていきました。こうした二面性も相剋、水剋火
を連想させます。2012年は戦争や天変地異が起きやすい時期といわれていましたが、今年は変わろうとする
時期で期待して良いといわれています。また、「巳」は、肉体ができ始めた胎児のことを意味します。こちら
も、新しく何かが出来ていくといえ、この「癸」「巳」年は新しい命や希望の息吹がみえてくる年。色々なと
ころで色々なことが新しく切り替わるための下準備の年といえます。前の同じ時代は、戦後の復興からバブル
の時代を言い、日本が大きく成長し、豊かになっていった時代です。易经にすぎるわけではないですが、良
い意味と希望を込め明るい期待を信じて楽しみにしながら毎日仕事に励みたいと思います。皆さんもそれぞ
れ今年1年色々なことがあると思いますが、頑張って良い年にしたいです。ありがとうございました。

<委員会報告>

- ◆ニコボックス委員会
次週掲載いたします。

<幹事報告>

小谷恒夫幹事

- 1) 下半期会費納入ご案内
- 2) 例会終了後役員・理事会
- 3) 1月15日(火)親睦夜間例会 国際ホテル(天守閣) 19:00～
- 4) 1月29日(火)規定休日のため休会
- 5) 日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会 第24回沖縄大会開催案内
- 6) ガバナー月信「1月号」回覧
- 7) 配布物・・・「ロータリーの友 1月号」

<卓話>

演題： 国際奉仕活動について

講師： RI2760地区国際奉仕委員会 佐藤文昭委員長

【国際奉仕はロータリーの第4奉仕部門】

- 1、ロータリアンが国際理解、親善、平和を推進するために実施できること全てから成る。
- 2、その方法は
 - ・他国の人々、他国の文化、慣習、業績、抱負問題を知ること
 - ・外国旅行や国際大会出席による個人交流
 - ・他国の書物の読書やロータリアンとの文通、報道を聞くこと
 - ・他国の人々の役に立つクラブ活動やプロジェクト全てに協力すること

【国際奉仕は四つの一般的分野に分類できる】

- ・世界社会奉仕プログラム
- ・国際レベルの教育及び文化交流活動
- ・特別月間と催し
- ・国際的な会合

今、地球の子供たちを考える

貧困と飢餓

世界の5人に1人は「貧困」です。国連では、人が最低限の生活するのに必要な金額を1日1ドルとしている。1日1ドル以下で暮らすことを「貧困」とよんでいる。

貧困に苦しむ12億人のうち食べるものもなく、栄養不足になっている人は8億人です。この状態を「飢餓」といいます。

開発途上国と後発開発途上国

世界にはおよそ200の国がある。先進工業国といわれる国はわずか31か国。それ以外は経済や工業、技術の発展が遅れ、戦争や紛争など政治的に不安定な状態にある。このような国を「開発途上国」と呼んでいる。世界の人口の実に80%を超える人、約50億人以上の人が開発途上国で暮らしている。開発途上国の中で特に貧しく開発の遅れた国を「後発開発途上国」という。世界に49か国、その半数以上がアフリカにある。

児童労働(家計を支える子供達)

- ・開発途上国や後発開発途上国では約10億人を超える子供たちが貧困に苦しんでいます。
 - ・子供たちは学校にも行けず毎日の食糧を手に入れるために働いています。
 - ・瓶や缶などのごみを拾ってお金に換える。
 - ・金持ちの家で掃除や畑仕事をしてお金をもらう。
 - ・大人に騙されて無理やり働かされたり、危険な仕事を押し付けられたりしている子供もいる。
- 生活のために、働いてお金をもらっている子供は世界におよそ2億5000万人いるといわれている。

教育:学校へ行けない子供達(開発途上国で暮らす子供達)

5人に1人の子供が学校に行けません。世界では1億2000万人の子供が学校に行けないその半数以上が女の子です。理由は貧しくて教材が用意できない、家の手伝いや仕事が忙しいといった個人的理由。近くに学校がない、先生の数が足りないといった社会的理由。

世界で行われている学校の新しい方法

- ・働きながら学校へ＝仕事の合間に短時間でも登校できるよう午前・午後・夜間と3交代にした学校
- ・農業等毎日に暮らしに役立つ勉強をする学校
- ・栄養知識、調理方法を学びながら栄養不足を解消する学校
- ・遊牧の子供たちに、ゲル、コンテナ車の「動く学校」
- ・障がいを持った子供達も寄宿舎で、リハビリ・点字の勉強
- ・難民キャンプの学校(ソマリア共和国)

貧困克服と自立に向けて世界の各地で地域や子供の暮らしに対応した様々な学校建設と教育

汚れた水を飲む子供達(保健・医療)

3秒に1人の命が失われています。毎年およそ1100万人の子供たちが5歳まで生きられません。これは1日に約3万人、3秒に1人死んでいるということです。これを「静かな緊急事態」といっています。主な原因は下痢やはしか肺炎などです。これは予防接種や適切な治療をすれば治る病気です。しかし栄養不足で体力が落ちている上、医薬品も足りない途上国の子供たちにとっては命に係わる恐ろしい病気です。



栄養改善と予防接種

- ・食料や医薬品が不足している途上国の子供にとって病気になることは「死」を意味します。
- ・栄養のバランスを整え予防接種を行って、病気にならないようにすることが子供の死亡率を減らすことになる。
- ・ビタミンAが不足すると失明したり、免疫力が下がったちょっとした病気でも死に至る。

幼い子供の命に襲い掛かる感染症

はしか、破傷菌、百日咳、ジフテリア、ポリオ、結核＝「三種混合」「BCG」今まで世界の80%が受けられている。いま、170万人の子供が受けられなかったため命を落としている。

安全な飲み水を手に入れよう

1990年代はじめ、5歳未満の子供が死亡する第一の理由は下痢性の病気でした。汚れた水を飲んで、下痢になり身体から大量の水分と塩分が失われて死んでしまうのです。トイレがないため、川の水や地下水が汚染され、それを消毒もせず地味するの大きな原因でした。安全な水を確保し衛生的な生活を心がければ助かる命だったのです。不衛生な水でコレラなど下痢性の感染症にかかる子供は後を絶たず、毎年190万人が死亡しています。アフリカやアジアを中心に世界の12億人およそ5人に1人は安全な水を利用できません。3人に1人はトイレなどの衛生設備がない家で暮らしている。アジアで地下水に含まれるヒ素が危険なレベルに達している地域がある。ゴミ山周辺地域でもごみの汚れがしみ込んだ水を飲み水として使っている。こうした地位では皮膚に湿疹ができたり、結膜炎などの目の病気、下痢性の感染症が広がるなどの被害が出ている、

お母さんの健康を守って元気な赤ちゃんの誕生を

不衛生な環境の中で子度を産んだり、医者や専門技術を持った人がいないまま出産するなど、妊娠や出産で亡くなる女性が毎年50万人以上います。

原因 短い間隔で何人もの子度を産む。年齢が低いうちに出産する

10代前半の女の子が子度を産む場合＝
・体が成長しきれていないため母親が障害を負う。
・生まれた子供の体重が平均に達していない。

生まれた時から栄養不足のため病弱で成長も遅く知的障害を伴うこともある。

母親の健康を守って元気な赤ちゃんが生まれるようにすると、子供の死亡率を減らすことができる。

世界の三大感染症「エイズ」「結核」「マラリア」この三つの病気で毎年600万人以上の命が失われている。

- ・エイズの拡大とともに広がる結核
- ・マラリアがこども命をうばう
- ・日とも大地も壊しつづける戦争
- ・今でも続く枯葉剤の被害(ベトナム社会主義共和国)
- ・悪魔の兵器地雷
- ・放射能の恐怖 劣化ウラン弾

2025年には 人口増加のため 50億人が飲み水に困る

世界では12億人が汚れた水を飲み、24億人が下水などの衛生施設が整っていない地域に住んでいます。開発途上国の病気の80%は汚れた水が原因。安全でない水にかかる病気で毎日およそ6000人の子供が命を失っています。

世界に広がる感染症

汚れた水はコレラやマラリア、デング熱などの感染症の原因にもなります。2004年12月26日に起きた、スマトラ島沖地震とインド洋大津波では30万人以上もの人々が犠牲になりました。巨大な津波は村々への安全な水の供給ルートを破壊し、汚染された水によって人々の暮らしがおびやかされています。犠牲者の3分の1は子供です。

2012～2013年度 国際奉仕委員会資料より抜粋



1月22日(火)	1月29日(火)	2月5日(火)	2月9日(土)
卓話:宮下智香子さん (トヨタ博物館)	規定休日	卓話:加藤 猛さん (トヨタ博物館)	2月12日(火)振替 東尾張分区IM 11:30～ (名古屋 Marriott アソシア)